

乗用車、バス、バイクを起因物とする激突されの死亡災害発生事例（1999-2021年）

発生年	発生日月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
2021	4	6 ～ 8	被災者は出勤のため駐車場内を乗用車にて走行していた際に、他の者が運転していた乗用車が停車位置を調整するためにバックしてきたため、当該乗用車後方部と、被災者の運転していた乗用車の右側面部が接触した。被災者は被災当日に打撲や擦り傷等の傷病がなく、体の不調を訴えることもなかったが、交通事故発生から5日後に「頭が痛い」と申し立て、翌日自室で死亡しているところを発見された。	11209	1～9
2021	9	6 ～ 8	被災者所属事業場は、受注した機械設備の整備工事に係る工事車両誘導等の業務を行う事業者であるが、被災者は構内に出勤後、同社構内の駐車場に社用車を駐車し、同社構内の道路を横断していたところ、構外道路から同社構内に左折、進入してきた車両に轢かれた。	170201	10～ 29
2020	1	4 ～ 6	パート従業員2名が、店舗内の一般駐車場に車を止め、歩いて店舗事務所へ向かう途中、従業員用駐車場付近を歩いていたところ、当該駐車場に止めようとした別の車に2名とも轢かれたもの。1名が死亡し、1名は休業災害となった。	80209	100 ～ 299
2020	4	14 ～ 16	ガソリンスタンド利用客の乗用車が暴走し、被災者に激突したもの。	11701	10～ 29
2020	7	14 ～ 16	片側二車線の県道上にて、片側の右側車線を閉鎖し、中央分離帯の除草作業中、被災者（警備員）が道路上で右側車線の走行車両を左側車線に誘導していた際、暴走してきた乗用車に追突されたもの。その後、暴走車は他の2名の被災者（除草作業員）にも追突した。	170201	30～ 49
			職員専用駐車場において、業務を終えた被災者が自らの軽乗用車の停車位置		

2020	11	18 ～ 20	<p>に向かって歩いていたところ、向かって左側から、空いた駐車スペースを突っ切って駐車場の出口に向かってきた同僚の軽乗用車に衝突された。同僚の車は被災者を車体右前輪に巻き込んだ上、乗り上げて通過した後停止したが、被災者は救急隊員が救出するまで同僚の軽自動車の車底部と地面の間に胸部を挟まれ、27時間後に死亡が確認された。</p>	130101	300 ～ 499
2019	1	10 ～ 12	<p>被災者は、利用者宅で利用者及び福祉用具業者と今後の支援の打合わせを行うため、付近の駐車場に自動車を止めて利用者宅に向かう途中、同じ頃に到着した福祉用具業者と駐車場で挨拶を交わしていたところ、後退してきた他の住人が運転する乗用車に衝突されたもの。被災者は病院に搬送されたものの、7日後に死亡した。</p>	130201	1～9
2019	2	16 ～ 18	<p>ガソリンスタンド内において、業務のため構内を歩行中の被災者が、洗車機からバックしてきた同僚の運転する乗用車（客の車）に激突され倒れた際に頭部を負傷した。すぐに、救急車で病院に搬送され療養していたが、後日死亡した。</p>	80204	1～9
2018	6	22 ～ 23	<p>国道の橋梁補修工事において、被災者は片側二車線の内、左車線の交通規制のため、右車線へ交通誘導を行っていたところ、左車線を走行してきた乗用車に激突された。</p>	170201	50～ 99
2018	9	2 ～ 3	<p>被災者は、給油のために来店したタクシーを後方で誘導していた際に、タクシー運転手がアクセルを踏みすぎたために衝突され、地面に後頭部を強打した。</p>	80204	10～ 29
2016	2	15 ～ 16	<p>調剤薬局に、帰宅途中の警備員が運転する乗用車が店舗入口から店内に突っ込み、壁を突き破って店外まで突破し、この際、店内で勤務中だった4名が被災し、内1名が死亡した。</p>	80209	1～9
2016	3	10 ～ 11	<p>病院の駐車場で入場車両の整理業務に従事中、場内の車両が後方に急発進し、被災者を車両下に巻き込み、引きずりながら後方の植込みの樹木に車両後部を激突させ、停止した。</p>	170201	10～ 29
2016	9	15 ～	<p>事業場の玄関天井にできた蜘蛛の巣を除去していた被災労働者が、後進して</p>	130201	1～9

		16	きた同僚が運転する社有車（普通自動車）に激突された。		
2016	12	9 ～ 10	店舗駐車場内の交通整理業務中、被災者は乗用車を駐車しようとしていた客に声をかけたところ、乗用車が運転席のドアを開けた状態で後方に急発進し、体にドアが強く当たり転倒、後頭部を強打した。	170201	10～ 29
2015	9	18 ～ 19	被災者は同僚と災害発生日前日に事業場を出発し、事業場の本社に出張していた。事業場から社用車で駅に行き、電車を利用し出張していた。災害発生日に駅に戻った後、コインパーキング内で清算中に同僚が落とした硬貨を拾うため、被災者は車外に出たが、その後に同僚は運転を誤り車が支柱に激突、慌てて後進させたため、運転席付近にいた被災者が運転席ドアと精算機の間で大腿部を挟まれた。	10909	50～ 99
2014	1	19 ～ 20	当日の運行を終了して車庫に戻ってきたバスに、清掃作業員であった被災者が車庫敷地内で轢かれた。目撃者はおらず、またバス運転手は、当初、被災者の存在に気付かず、降車後に被災者を轢いたことに気付いたという。	40202	10～ 29
2014	12	11 ～ 12	自動車道にて、被災者が同僚らと土砂の清掃作業の際、路肩規制を行おうとラバーコーンを設置しようとしていたところ、被災者が路肩規制を行っていた方向に侵入してきた普通乗用車にはねられ、死亡した。	30106	1～9
2014	12	14 ～ 15	駐車場を横断中、来場してきた車と接触し、頭を強打し、死亡した。	150101	100 ～ 299
2014	12	17 ～ 18	構内事務所で作業終了後、帰宅するため、構内バスのバス停に移動中、道路の横断歩道を横断中に乗用車に跳ねられた。	11001	50～ 99
2013	9	16 ～ 17	ホテル駐車場のスロープ部分において、被災者が来客者の対応をしていたところ、車を駐車場に入れるため、加害者が運転してきた車によって撥ねられた。	140101	100 ～ 299
2013	1	11 ～	被災者は、受水槽の給水設備を点検した後、事務所へ移動するため、資材搬入路を横断していたところ、当該資材搬入路を後進してきた一般車両に激突	150101	1～9

		12	され、路面で頭部を強打した。		
2013	11	23 ～ 24	被災者は、中古自動車オークション会場において、落札した自動車を引き取るため場内をキックボードを使用して移動中、駐車していた自動車の脇から通路に出たところ、場内の循環バスが巡回路以外の箇所をショートカットして走行してきてため、激突された。	40301	10～ 29
2012	10	16 ～ 17	廃車を引き取るため出張した際の事故。引き取り先は、県道から狭い幅員の未舗装山道を約100m上った先にあり、運搬車が入れないため、被災者は依頼主とともに、依頼主の車で廃車をワイヤロープで繋いで牽引し、県道に停めた運搬車まで運ぼうとした。依頼主は自車に乗り、廃車は空車のまま、被災者は車外で牽引前の準備を行っていたところ、下り坂で廃車が動き出し被災者に激突した。	150103	10～ 29
2011	7	12 ～ 13	事業場の昼休み（12時～13時）に入った12時5分頃、事業場敷地内の信号のない交差点を250CCのバイクで走行中、左方向から走行してきた同僚の運転する普通乗用車と出会い頭に衝突し、死亡したもの。被災者は、日頃、事業場敷地内にある食堂への移動にバイクを利用しているため、被災当日も食堂へ移動中だったものと推定される。また、普通乗用車の同僚は、自宅で昼食をとるために移動中であったもの。	120109	50～ 99
2011	1	8 ～ 7	被災者は出勤時に社員駐車場内を走行していたところ、駐車する為に駐車場内を北進して東向きに右折しようとしていた普通乗用車と被災者が接触し、転倒して被災した。	11502	300 ～
2011	3	17 ～ 18	作業を終えた被災者は、現場詰所から工場更衣所へ向け、自転車で向かっていたところ、同じく作業を終え、他の詰所から更衣所へ向かっていた同僚が運転する自動車に後部から激突され、病院へ搬送後、急性硬膜下血腫により死亡した。運転していた同僚は、被災者を現認していたが、被災者が、前進する自動車の右前方へ急接近したため、接触に至ったもの。	11001	300 ～
2011	3	11 ～	プラットホーム（ごみピットへごみを投入するための場所）でごみの仕分け作業をしていた被災者が、投入口②の脇で、持ち込んだごみを廃棄するためプラットホームに進入してきた軽自動車を誘導していたところ、当該軽自動	150103	10～

		12	車の後進中に運転手がハンドル操作及びアクセル・ブレーキ操作を誤り急加速したため、被災者が避けきれず当該軽自動車に激突されたもの。		29
2011	9	9 ~ 10	病院構内の駐車場において、同病院の来院者の乗用車の後方に立ち、当該乗用車を誘導し後進させていたところ、当該乗用車の運転手がブレーキとアクセルを踏み間違えたため、後進してきた当該乗用車にひかれ、頭部及び胸部等を負傷した。被災者は、同病院において診療を行った後、別の病院に搬送され、治療を行っていたが、10月3日に死亡が確認された。	130101	100 ~ 299
2010	4	8 ~ 9	被災者はマンションの管理人であり、管理するマンションに出勤のため自転車で向かっていたところ、マンション敷地内の駐車場に駐車しようとバックしていた車両と接触して転倒し、後頭部を強打した。病院に搬送されたが3日後に死亡した。	170209	10~ 29
2010	2	7 ~ 8	サトウキビ収集場所付近の道路上（勾配あり）に、被災者がサイドブレーキをかけずエンジンをかけたまま車（ワンボックスの軽自動車）を止め、他の労働者に作業中止の連絡をするため車道を歩いていたところ、停めた車が動き出し被災者に激突した。被災者は頭部の負傷により3日後に死亡した。	60101	50~ 99
2009	3	17 ~ 18	被災者は、退勤のため工場外の送迎バス乗り場に向かって工場内敷地の横断歩道を歩行していた。作業者は手直し車両置き場に駐車してあった自動車を工場へ移動させるため後進したところ被災者に激突した。	11502	1001 ~ 9999
2009	4	8 ~ 9	同僚の車に同乗して出勤しようとしていた被災者は、事業場の来客用駐車場で下車し、駐車場に隣接する従業員寮に向かって歩き始めたところ、方向転換しようとして後進した同僚の車の後部に接触して転倒し、駐車場のコンクリート地面に身体を強打した。当日、病院に搬送されたが後日死亡した。	140101	30~ 49
2009	10	15 ~ 16	駐車場整理員の被災者が駐車場に駐車する乗用車の後方で駐車枠内に誘導中、乗用車の運転者が運転操作を誤って急に後進したため、はねられ、さらに後方に駐車してあった別の乗用車との間にはさまれた。	80409	1~9
2009	4	12 ~	橋梁の基礎補修工事現場において、休憩時間中に作業員2人がバリケードで囲われた歩道上で休憩を取っていたところ、橋梁を通る市道を走行していた	30199	1~9

		13	一般車両が反対車線を越えて歩道に突入し、作業員2人に激突された。作業員のうち1人は搬送先病院において死亡、もう1人は命に別状はない。		
2008	5	8 ～ 9	駐車場の清掃作業中に被災者が事業場建屋の外壁沿いを通行していた際、駐車場の車止めを飛び越えて後進して来た車の後部に激突されて死亡した。	140309	50～ 99
2008	1	7 ～ 8	事業場の配車係が事務所のある建屋の2階駐車場に止めてあった車を移動させていたところ、車に乗車したまま同駐車場の1階と同2階とを結ぶ通路上に転落した。車を運転していた配車係は負傷しなかったが、車が転落した際に当該通路を歩行していた同僚が、転落してきた車に激突されて建物の壁との間で身体をはさまれて死亡した。	40201	50～ 99
2008	2	7 ～ 8	店舗前の駐車場に進入した乗用車が、車止めを乗り越えて店舗前で清掃中の被災者に激突した。	80201	1～9
2008	3	13 ～ 14	展示している中古外国車の位置を調整するために、タイヤに食込んだ車止めを除去しようと前後に動かしていたところ、車の前で車止めを抜こうとして車止めごと前進してひかれて死亡した。	80202	1～9
2008	12	9 ～ 10	国道上で光ケーブルの敷設工事の準備作業中、ワンボックスカーが道路の右側を通行して作業員2名をはね、1名が死亡、1名が重傷を負った。	30301	10～ 29
2007	1	10 ～ 11	石油スタンド構内で停車していた客の車の前方を、業務連絡のため通っていた被災者が、突然急発進した当該車両に激突された。	80204	1～9
2007	10	5 ～ 6	営業所構内において、長距離バスのし尿抜取作業を終了した後、運転手がバスを移動しようとしたところ、前方にいた被災者（清掃担当）に気付かずバスを前進させ、被災者に衝突した。被災者はバスの前方で落した荷物を拾うため、しゃがみ込んだところをバスに衝突され、倒れこんだところを右後輪にひかれた。	150109	10～ 29

2006	3	13 ~ 14	バッテリーが故障した自動車の修理を顧客から依頼され、被災者が自動車内に半身を入れ作業を行っていたところ、突然車が前方に動きだした。壁に激突しそうになったため、被災者が慌ててギアをバックに入れ、その後アクセルを踏んだため、猛スピードで後方に走り出し、何本かの木に衝突し方向を変えながら、道路に投げ出されたところで停止した。被災者は車から投げ出され、車の下敷きになった。	80204	1~9
2006	3	10 ~ 11	最大積載量4トンのトラックを倉庫のヤードに駐車して、荷の積み下し作業を行っていたところ、同トラックがヤードから道路側に前進しはじめた。それに気づいた運転手がトラックを止めようとトラック前面にまわりトラックを押したが、トラックを止められず道路向い側に駐車していたトラックの荷台に激突し、運転手が間に挟まれた。	40301	50~ 99
2006	2	8 ~ 9	地下駐車場で清掃作業中、走行してきた車にはねられ1名が死亡し、1名が重傷を負った。	150101	300 ~ 499
2005	11	1 ~ 2	通信ケーブル新設・撤去工事現場において、車線変更での交通誘導警備中、普通乗用車が当該工事現場に進入し、現場内に駐車していた工事車両に衝突し、その反動で工事車両が被災者に激突した。	170201	10~ 29
2005	9	14 ~ 15	車両置場において、廃車にした軽自動車からドライブシャフトを取り外す作業において、ジャッキが外れ当該車両の下敷きとなった。	11701	1~9
2005	12	16 ~ 17	国道の歩道整備工事中、コンクリート舗装箇所の周囲をバリケード柵で囲み、コンクリート舗装の金網を敷設していたところ、走行してきた車が居眠り運転により中央分離帯に激突し、その反動で工事箇所へ突っ込み、被災者が同車両に激突された。	30106	1~9
2005	6	13 ~ 14	片側2車線の道路の右側車線を、単管バリケードを並べて設置し通行止めにし、単管バリケードの内側でアスファルト舗装作業を行っていたところ、左側車線を走行してきた一般車両が単管バリケードに接触し、そのバリケードに激突された。	30106	1~9

2005	9	7 ～ 8	自転車で横断歩道を横断中、乗用車に激突された。	10105	100 ～ 299
2005	11	0 ～ 1	乗用車を後進で動かしたところ、乗用車の後方を徒歩で移動していた被災者に気づかずに接触した。	10401	10～ 29
2004	1	10 ～ 11	国道において、管工事現場の交通誘導を行っていたところ、走行してきた一般車両（ワゴン車）を通過させようと誘導した際、当該ワゴン車が被災者に突っ込んだ。	170201	10～ 29
2004	7	4 ～ 5	路面改修工事に係る車線規制に伴う交通誘導作業中、交通誘導を行っていた被災者が、規制車両（表示板を載せた車）と照明器具搭載車の間に居たところ、自動車が車線規制中の工事区間に侵入し規制車両に激突し、被災者が規制車両と照明器具搭載車とに挟まれた。	170201	10～ 29
2003	12	13 ～ 14	昼食を終わって歩道を歩いて測量現場にもどる途中に、そばで発生した自動車同士の交通事故に巻き込まれた。	170209	1～9
2003	7	13 ～ 14	営業活動中にコンビニエンスストアに立ち寄ったときに、駐車場に進入してきた乗用車とコンビニエンスストアの建物との間にはさまれた。	80205	30～ 49
2003	2	9 ～ 10	埠頭内のモータープールを歩行していて、駐車中の車の中から出てきたところ走行中の車にはねられた。	50209	1～9
2002	12	16 ～ 17	庭園での作業を終えたので作業車（軽ワゴン車）を敷地内駐車場に入れるため、助手席からいったん降りてゲートを開けたのち戻ろうとしたときに、作業車が発進したため跳ねられた。	140302	10～ 29
2002	7	13 ～	駐車場で7日前に発生した事故で塗装のはがれた自動清算装置の補修箇所の確認作業を行っていたときに、駐車場を出庫しようとした自動車と自動清算	11702	10～ 29

		14	装置との間に挟まれた。		
2002	6	9 ～ 10	得意先へ鉄型（電気炉の枠）を取りに行くため軽四貨物を鉄工所前の坂道に駐車し、その場を離れようとしたところ車が動き出したので、車の前方から押し止めようとしたが止まらず下敷きになった。	11301	1～9
2002	3	7 ～ 8	駐車場から店にパンを搬入し、空台車を押して車に戻る途中、店員が運転していたバイクに激突して転倒し頭部を強打した。	40301	100 ～ 299
2001	8	5 ～ 6	買物客が駐車していたワゴン車が約1.5～4度の勾配のため後方向に約18m逸走し、駐車場を清掃していた店員に激突した。	80201	10～ 29
2001	6	11 ～ 12	事務所の出入口から通用路に出たときに、店員が後進で敷地内の展示場へ移動させていた試乗車に激突された。	80202	10～ 29
2000	7	9 ～ 10	袋入りの鰻の肝を配達するためにスロープに車を止めて降りたところ、車が動き出したためフロント部を押して止めようとしたが止まらずにひかれた。	80109	1～9
2000	12	15 ～ 16	ガソリンスタンドで、客の乗用車を自動洗車機の台車(車止め)にセットしてエンジンをかけたままサイドブレーキを掛けずに運転席から降りたところ、洗車機を稼働したときに乗用車がバックし始め道路上に出たのでこれを止めようと手で押さえたが逆に跳ね飛ばされて道路上に転倒した。	80204	1～9
2000	4	12 ～ 13	くい打機搬入のために作業帯を設ける準備作業を行っていたところへ対向車線を走行してきたワゴン車が誘導者の指示を無視して作業帯に突っ込んで、はねとばされた。	30104	50～ 99
1999	9	10 ～ 11	自動洗車機による洗車を終えコンベアーに乗せた1台目と2台目の車両後部の水滴等の拭き取り作業をしていたときに、同僚が3台目の車両をコンベアーに乗せようとして発進したときに、アクセルを強く踏み過ぎたため、前の車に衝突、玉突き状態となり車両の間に挟まれた。	11701	50～ 99

1999	3	13 ～ 14	立体駐車場の操作盤付近でゴンドラの操作及び車の誘導を行っていたときに、同僚が客の車を構内の別の場所に移動させるため運転してこの車にひかれた。	140101	100 ～ 299
1999	2	13 ～ 14	構内道路を自転車で管理棟へ向かって走行中、前方より直進してきて右折しようとした2トントラックに衝突し、車体に巻き込まれた。	170201	30～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210\\_31.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_31.html)に戻る。